

相模だより

能開大のうごき

平成9年度 専門課程修了式

平成9年度の専門課程修了式が平成10年3月13日執り行われました。このたび修了された方々は1年訓練（4月入学）と後期6ヵ月訓練（10月入学）を終えられたみなさんで、合同の修了式となりました。

修了のみなさんは入学前からすでに相当な技能・技術と経験をお持ちの方々ですが、昨年4月または10月に入学されてからは、再び学生時代に帰って日夜学習を続けてこられました。期間中は、ご苦労も



修了証書が1人ひとりへ

あったことと思いますが、今後は本校で修得された成果をもとにますますご活躍されるようお祈りいたします。

平成9年度長期課程卒業式 および研究課程修了式

専門課程の修了式に続いては、平成9年度の長期課程卒業式および研究課程修了式が平成10年3月25日執り行われました。長期課程（第34期）の卒業生総数は231名、研究課程（第8期）修了生は17名です。

式典では早川校長から長期課程卒業生には卒業証書、つづいて研究課程修了生には修了証書がそれぞれ授与されました。そして、早川校長は告辞の中で「大学生活で学んだよい言葉よい技を正しく活かして、信念と希望の上に立派で素敵な人生を」と述

べられ、卒業・修了生の新しい門出を祝しました。また、雇用促進事業団理事長からはごあいさつを、労働大臣からはご祝辞をいただきました。

式後の懇談会で卒業・修了生は、4年また研究課程を含めると6年という長い大学校生活を無事終えた喜びにひたっていました。



卒業・修了生代表による答辞



早川校長は告辞で「信念と希望の上に人生を」と



卒業・修了の喜びに包まれる式場

国費外国人留学生 日本語研修発表会

昨年10月に来日した国費外国人留学生（第6期）8名は、半年間に及ぶ日本語研修も無事終え、4月からは元気に1年次生として長期課程での学習を続ける毎日です。

さて、さる3月26日にはそれまでの日本語研修の成果を披露するために「日本語研修発表会」が開催されました。来日直後より上達した日本語でさまざまなテーマがしっかりとした口調で語られ、会場に



日本語研修の成果
を発表する留学生



発表会後の懇親会
で



留学生のみなさん（講師を囲んで）

いた教職員は留学生たちの上達の早さに感心していました。一方教職員にとっても日本の文化や社会について異なった見方や考え方に接することもでき貴重な時間となったようでした。

はじめに触れたように、今後は4月から始まった長期課程での専門の知識や技術・技能の修得に多くの力を注がなければならず、当分は大変な時間が続きます。とはいえ、先輩たちも慣れない日本での生活のなかで日本語の修得と勉学を両立させながら卒業していったように、彼らにもその努力を期待したいところです。なお、昨年12月に行われた日本語能力試験(財)日本国際教育協会・国際交流基金実施)では、1年次生(現2年次生)2名、4年次生(平成10年3月卒業)1名が同試験1級に合格するなど、日本語上達のための地道な努力が続けられていることもこの場を借りてお知らせします。

平成10年度長期課程 研究課程 および専門課程入学式

平成10年度の長期課程、研究課程および専門課程の合同入学式が4月7日執り行われました。

このたびめでたく大学校に入学されたのは、長期課程244名、研究課程25名および専門課程7名で、式典会場は入学の喜びとこれから始まる新しい生活への期待に胸をふくらませた新入学生たちの熱気に



早川校長による告辞

包まれていました。

当日は早川校長から「新しい知識と技能の扉は諸君が叩くのを待っている。心・体・知恵の一体化した成長を」と告辞がありました。そして、雇用促進事業団副理事長からごあいさつをいただき、また、労働大臣からご祝辞をいただきました。

熱気に包まれ
る式場



新入生代表に
よる宣誓